

まちづくり交付金(日暮里駅周辺地区)の事後評価について

1. まちづくり交付金

まちづくり交付金は、市町村が作成した都市再生整備計画に基づいて実施される事業に対して交付されます。交付期間は概ね3～5年となっており、国は対象事業費の約 40%を交付します。

「日暮里駅周辺地区」は平成 18 年～平成 21 年度に実施し、交付対象事業費約 84 億 2 千万円に対して国から約 33 億 6 千万円の交付を受けました。

2. 事後評価について

まちづくり交付金においては、市町村が設定した目標や指標に対する事後評価を交付終了年度に実施します。

事後評価では、都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況を確認し、その要因分析を行なうとともに、今後のまちづくり方策を作成します。

また、事後評価の合理性・客観性を担保するために、事後評価原案を公表し、住民からの意見がある場合はそれを適切に反映するとともに、第三者により構成されるまちづくり交付金評価委員会で事後評価全般にわたる評価作業の適切さの確認を受けます。

なお、事後評価において数値目標の達成状況に見込みの値を用いた場合は、翌年度に改めて達成状況を確認し、評価を確定させるためのフォローアップを実施します。

3. 日暮里駅周辺地区の事後評価

指標	再開前値	目標値	実施後の数値(平成 21 年)	実施後の数値(平成 22 年)	総合所見
1:商業床	4,500 ㎡	10,000 ㎡	10,700 ㎡(達成率 107%)	10,700 ㎡(達成率 107%)	計画通りに竣工し、従前と比較して大幅に増加した。
2:定住人口	180 人	1,700 人	1,585 人(達成率 93%)	1,572 人(達成率 92%)	目標値には届かなかったが目標の9割以上を達成した。
3:*歩行者数	4,300 人	9,800 人	8,278 人(達成率 84%)	7,403 人(達成率 77%)	測定地点では目標値には届かなかったが、事業地区全体としては大幅に増加した。

*歩行者数は、特定の 1 地点を測定した数値。

4. 事業実施後のまちづくりの方策(事後評価時に示した今後のまちづくりの方策について、フォローアップまでに実施した具体的内容及び結果)

事業実施後のまちづくりの方策	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題
周辺商店街も含めた駅前商業地域の更なる賑わいの創出	ひぐらしの里3地区の一体的な連絡調整組織を結成し、再開発組合解散後も連絡調整組織が継続的に運営するよう指導した。	3つの組織と連携しながら「荒川区交流都市フェア in 日暮里」や「NN36 Festival in ARAKAWA」を開催した。 また、再開発組合では3地区連絡協議会の新しい組織への移行に向けて検討中である。	駅前の賑わいを創出するためには、3地区のみでなく周辺商店街の協力が必要なため、今後はひぐらしの里3地区と周辺商店街の連携に向けて検討していく必要がある。
定住人口の維持・改善	居住環境の向上や適切な維持管理のためにも、ひぐらしの里3地区で連携を図るよう指導した。	居住環境の向上については、現行の3地区連絡協議会で協議されている。	長期に亘って修繕計画に沿った適切な維持管理を行う必要がある。
歩行者(来街者)数の更なる増加	駅前広場でイベントが実施できるよう地元・区・都が連携し、開放している。	イベント開催により区内外から多くの集客が図られ、日暮里地域の活性化に寄与している。	駅前広場のイベントの定着化を図り、多くの来街者を集める必要がある。